

第4回 佐賀県木造塾



平成27年2月15日（日） 会場：唐津市文化体育館

【講座】

1. 「木材の流通と最近の木材市場の動向について」

ザイモク新聞社 編集発行人 永野政治

2. 「唐津における木材の生産と流通について」

(一社)佐賀県木材協会 奈良崎事務局長

3. 「佐賀県産材を使った公民館建築について」

大家建築企画設計室 大家和義

4. 「平成26年度佐賀県木造塾を振り返って」

(株) ミヤタプランニングオフィス 宮田潤一郎

木材の流通と最近の木材市場の動向 について

安倍内閣は、林業を成長戦略に位置付けて
地方創生の核としている

人工林資源の充実から本格的な伐採期を迎えた

○国産材に追い風のムード

- 外材の輸入量は96年をピークに減少へ、他方、国産材の供給量は22,100万㎡と、02年を底に増加基調。国産材の自給率は18% (02年) を底に、現在の29%まで上昇。
- 高性能林業機械と設備整備によって低コスト生産。しかし、高齢化による担い手不足が深刻化して

○外的要因=円高

- 外材は輸入コスト上昇により競争力が低下し、国産材への移行が期待される。







【さいごに】

佐賀県産木材

🌲 「佐賀県産乾燥木材」認証制度について



佐賀県産乾燥木材認証制度は、県内の森林で生産された丸太を認定製材工場で製材し、県内の木材乾燥施設を使って人工乾燥を行い、所定の含水率まで乾燥し、割れなどの狂いが少ない品質の安定した乾燥木材を供給することを目的とした制度です。

🌲 佐賀県産木材は、主に3種類に分けられます



種類 1 佐賀県産認証乾燥木材(認証KD材)

佐賀県産の認証乾燥木材は、県内で生産された木材を佐賀県木材協会からの依頼をかけて県内の乾燥施設によって人工的に乾燥を行い規格・基準に適合させた材のことです。

※設備や運転コストを必要とする反面、熱処理を受けているので割れが抑えられ、寸法安定性が高くなり、カビや腐朽菌・蟻に対しても強度のある材を作り出すことができます。

佐賀県産認証乾燥木材の規格・基準

含水率	20%以下
寸法の制度	-0mm
曲がり・反り	材長の0.1%以内
割れ	割れ幅3mm以下、貫通割れがないこと
節	径比40%以下、集中節は径比60%以下
丸み・腐れ	無いこと
変色	軽微であること